

学生相談・メンタルヘルスカウンセリング体制について

2017/4 /1現在

- ①休・退学、転研究科・専攻、単位取得、留学等に関する修学相談
- ②奨学金や学費等の経済的問題や住居に関する相談
- ③精神・心理的な悩みに関する相談
- ④身体的な健康に関する問題
- ⑤就職や進路に関する相談
- ⑥各種ハラスメントに関する相談
- ⑦その他

	体制	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	備考
全学共通体制	副学長直結何でも相談窓口 外部専門家による対応 ※セクハラ、アカハラ相談も含む (Eメール)gakusei_consult(at)ml.soken.ac.jp	○	○	○	○	○	○	○	

★詳細は、各専攻大学院担当等にお問合せください。

専攻	体制	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	備考
構造分子科学 機能分子科学	学生相談員(教員4名)	○	○			○	○		
基礎生物学	学生相談窓口(教員4名)	○	○				○		
	主任指導教員、指導教員、生命科学プログレス担当教員、授業補助担当教員	○	○				○		学生毎に複数の教員が指導する体制を取っており、学生相談窓口の担当教員とは別に修学相談等にも対応している。
生理科学	学生相談員(教員4名)	○	○			○	○		
岡崎地区4専攻 共通(構造分子科学、機能分子科学、基礎生物学、生理科学)	メンタルヘルスカウンセラー(外部1名)			○					
	ハラスメント防止相談員(教員、研究員、事務職員、技術職員)						○		
	ハラスメント防止相談員(外部1名)						○		
	医療機関(外部5機関)			○					・外部の5機関の病院においてカウンセリング相談
	産業医による健康相談				○				・原則、毎月第1曜日(祝等に当たる場合は翌週)、午後2時～3時に実施
	メンタルヘルスカウンセリング			○					・法研東京カウンセリングセンターとの契約による電話カウンセリング、面接カウンセリング、WEBカウンセリング
	ファミリー健康相談				○				・法研東京カウンセリングセンターとの契約によるWEB上でのファミリー健康相談。健康管理、症状と治療法、受診上の注意、育児に関する相談、シルバー相談(老人介護)なども可

*立川地区(日本文学研究専攻、統計科学専攻、極域科学専攻)については、一人の外部カウンセラーが3専攻の学生の対応をしている。